

孕

はらませゲーむっ!





ヒキ

ヒキ

ヒキヒキ

「痛っ!! ああああっ!!」

「ああゝ処女膜破るゝの感覚っ
最っ高だわゝ」

「や、やめっっ、あうっっ…
な、なんでっ…んなんっっ…」

ヒキ

ヒキ

「はあっはあっ、夢にまで見た
青葉ちゃんを生マン最高っ!」

「あっ、はっ、うあっ!..
や、やめっ..っ、だ..誰か..
あああっ!」

「ぐんぐん呼んでも誰も助けに
こないと思うよ?
どうせ今頃ひふみさんとかも..」

「そ..そんな..」

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ





「も、もっぴん田んぼ...」
出すよ青葉ちゃんっ...」

「...え...」

「...ん...」

「...あ...」
「...れ...嘘...」
「...や、やだ...やだやだ...」
「...いやあああああ...」

「!!」

「クワッ」

「クワッ」

「クワッ」

「クワッ」

「クワッ」

「クワッ」

「W!」

「W!」

アッ

あ..

あ..

あ..

アッ

アッ

アッ

アッ

「ふう〜めっちゃ出たわ〜」

「う..あ..熱..ほ..ほんとにな..中に..あ..ああ..」

「そんなにしよげないでよw
次は青葉ちゃんも気持ち良く
してあげるからさw
俺いいモン持ってたよね〜」

「..え..」



「な…何…これ…っ!!」
あ…熱…つくて…頭が…っ
あああああっ!!」

「単なる媚薬みたいなモンだよw
これで青葉ちゃんも生セックスを
楽しめるねっ」

「や、やめっ…っ…それっ
動かさないで…っ、あああああっ!!」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」



「出る出るっ、また出るよっ」
「だ、だめっ、だめだめっ、
い、今出されたらっ、っ」
「ふんふん」
「いやあっ、や、やだやだ、
こ、こんなの、こんなの、っ、
くる、っ、またきちやっ、っ、
あああああっ、っ」

ズキ
ズキ
ズキ

ズキ
ズキ
ズキ

ズキ
ズキ
ズキ

ズキ
ズキ
ズキ

ズキ
ズキ
ズキ





クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ!

「憧れのひふみさんの
オマンコ」いただきますっ」

「あ……あ……あ……」

「これって……ひふみさんって
処女だったのか……しかも
相手は俺……やっべめっちや
嬉しいっ」



アッ!

アッ!

「はぁいはい、ひんみおんじ
どどどですかつ、俺じ
上手く出来てますかつ」
「そ…そんなの…
し…知ら…ない…」

「あ…あ…あ…あ…あ…」



WAW!

F5Mw~

F5Mw~

F5Mw~

WAW!

ア

ア

「あーん」
「...うん...合おあおん...ん...」
「...外...待...め...せ...か...め...」
「...ん...せ...お...ん...」



「おあひ、おあひ、せひぐん…
 中田くんとくんとなリ…」
 「…あ…は…ああ…」
 「…く…ひ、ひふみちん…
 お…俺、まだ足りない…」
 「…」

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



おは

おは

おは

おは

おは

おは

おは

「おは……あ……は……」
「ひふみさん声出てる……
無理矢理されて感じるって
とんだMじゃないですか……」
「……違……」「それは……
……あ……は……あ……あ……」



「ぐひっwねねっちの処女マン
いただきま〜すっ」

「~~~~~」

「つっ、流石にきつこっ
この体格で初物とか…
メツチや興奮してきたw」

「や、やだっ、たっ助け…
~~~~~」

びしょ!

ギョッ

ギョッ

ギョッ

びしょ!

ギョッ

ギョッ

「うっ、あっ、ああっ―  
痛い痛い痛い―」  
「ね、ねねっちで  
言わないでっつ  
それはあおちだけのっ  
ああああっ―」  
「長くは持たんわW  
マン、わねっち  
ちゅわん、わねっち  
ちゅわん」

びしょ!

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ!

びしょ

びしょ





「おー!!おー!!」  
「おー!!おー!!おー!!」  
「おー!!おー!!」  
「おー!!おー!!おー!!おー!!おー!!」

!?

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ





「あつ、はっ、ううっ！  
な、何…これえっ！」  
「単なる媚薬だからw  
ほらほらっ、おじさんの  
オチンポ気持ちいいねえっ？」  
「こんなの…っ  
気持ちいいわけ…っ  
あああああっっ！」

びん！

キキキ

キキキ

キキキ

あ

あ

あ

あ

びん！



「ほらほらっ、10発目  
イクよっ……んっ……」  
「あ、気持ちええっw  
強制中出しサイコーw」  
「あおっち……私……もお……  
だめ……かも……っ」

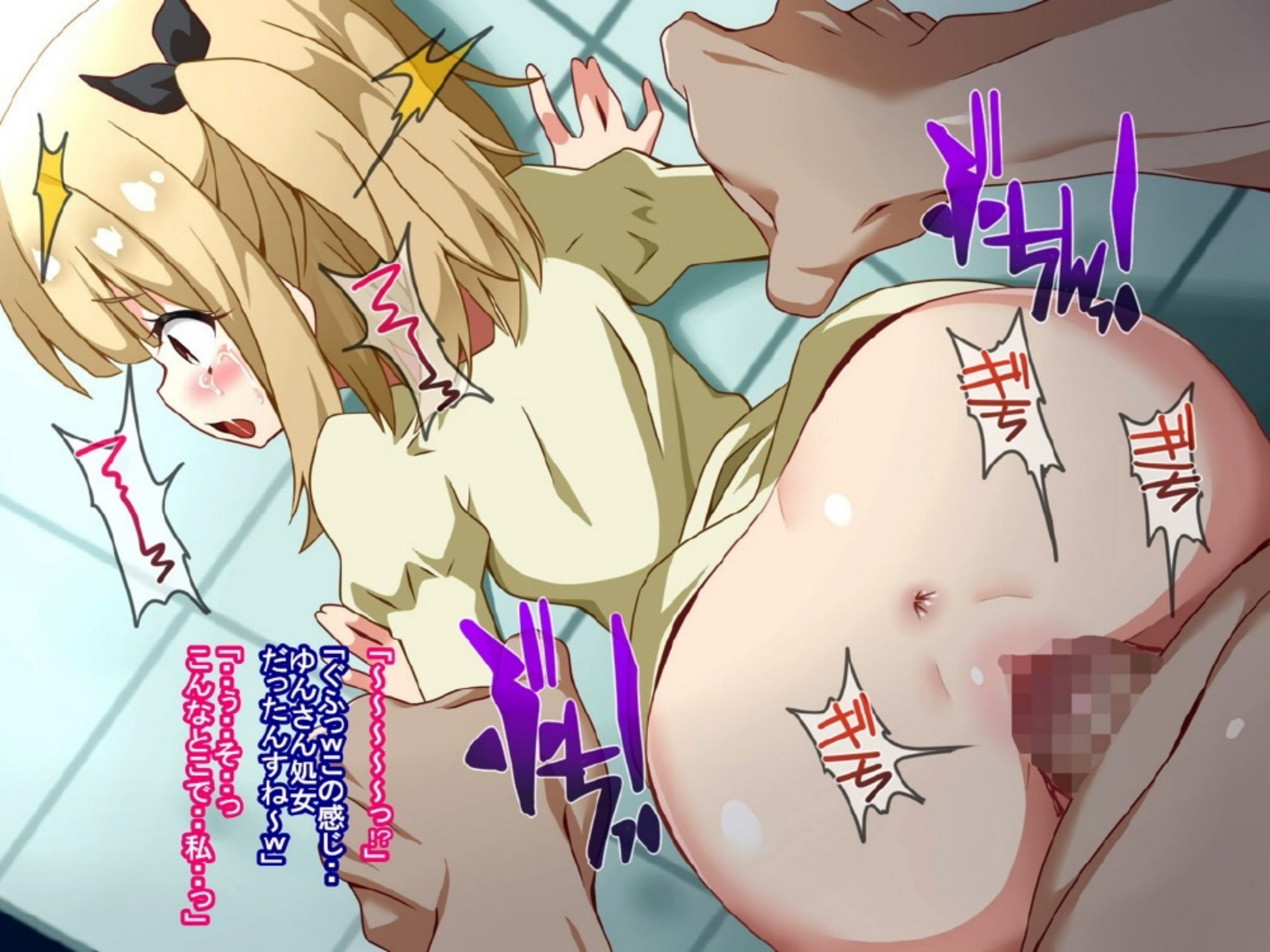
ビッパッ

チン

チン

チン

ヤッ!



びんびん!

キキキ

キキキ

キキキ

ビィン

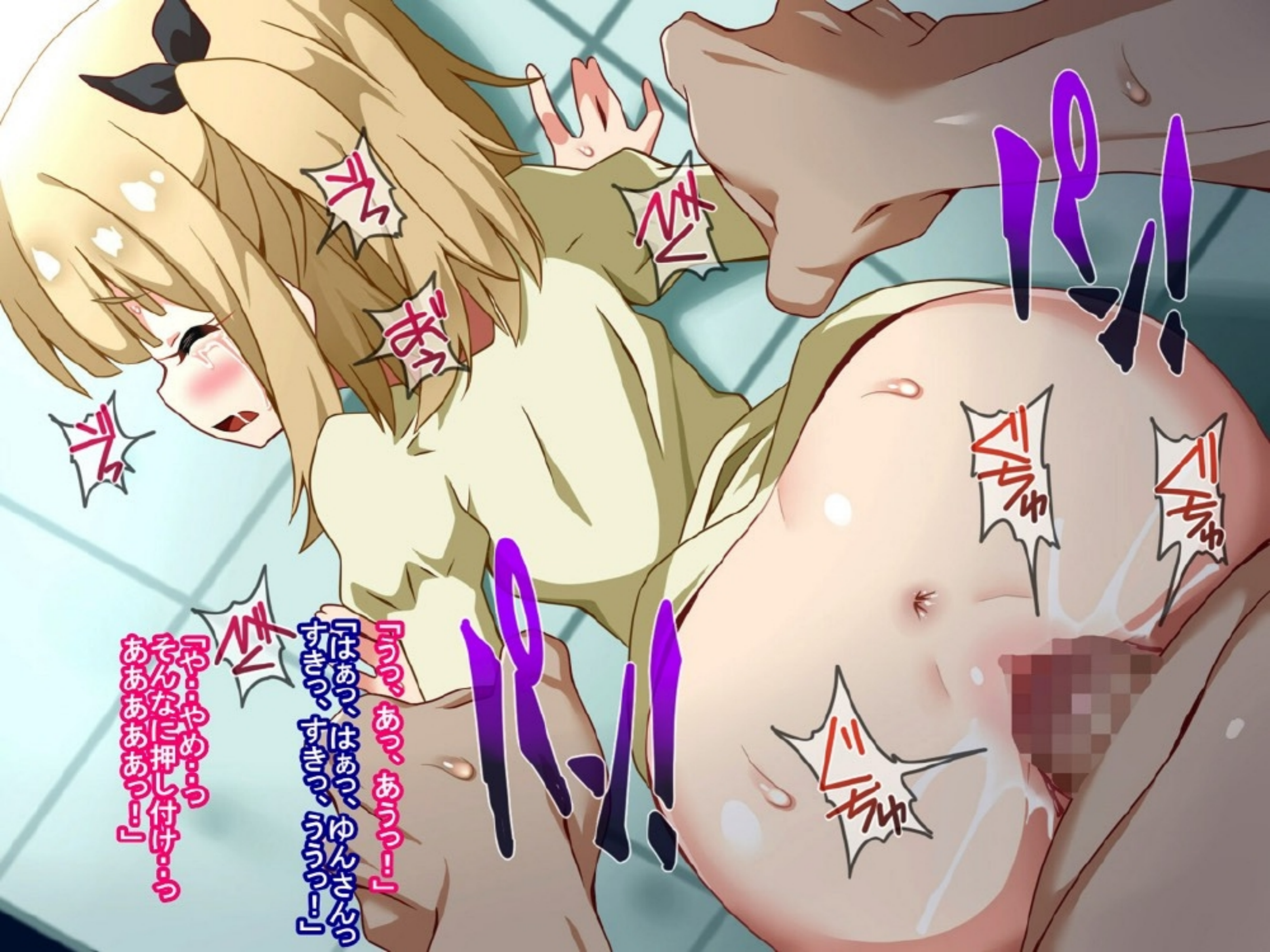
~~~~~

「ゆんさんの胸...」

「だったんすね〜w」

「~~~~~」

「うんぬん...私...」



IR!!

ウツウツ

ウツウツ

ウツウツ

IR!!

「あー、あー」

「はあ、はあ、ゆんちゃん、すき、すき、」

ウツ

「や、やめ、」
「そんなに押し付け、」
「あああああ、」



ヤァー!!

キーン

キーン

キーン

ヤァー!!

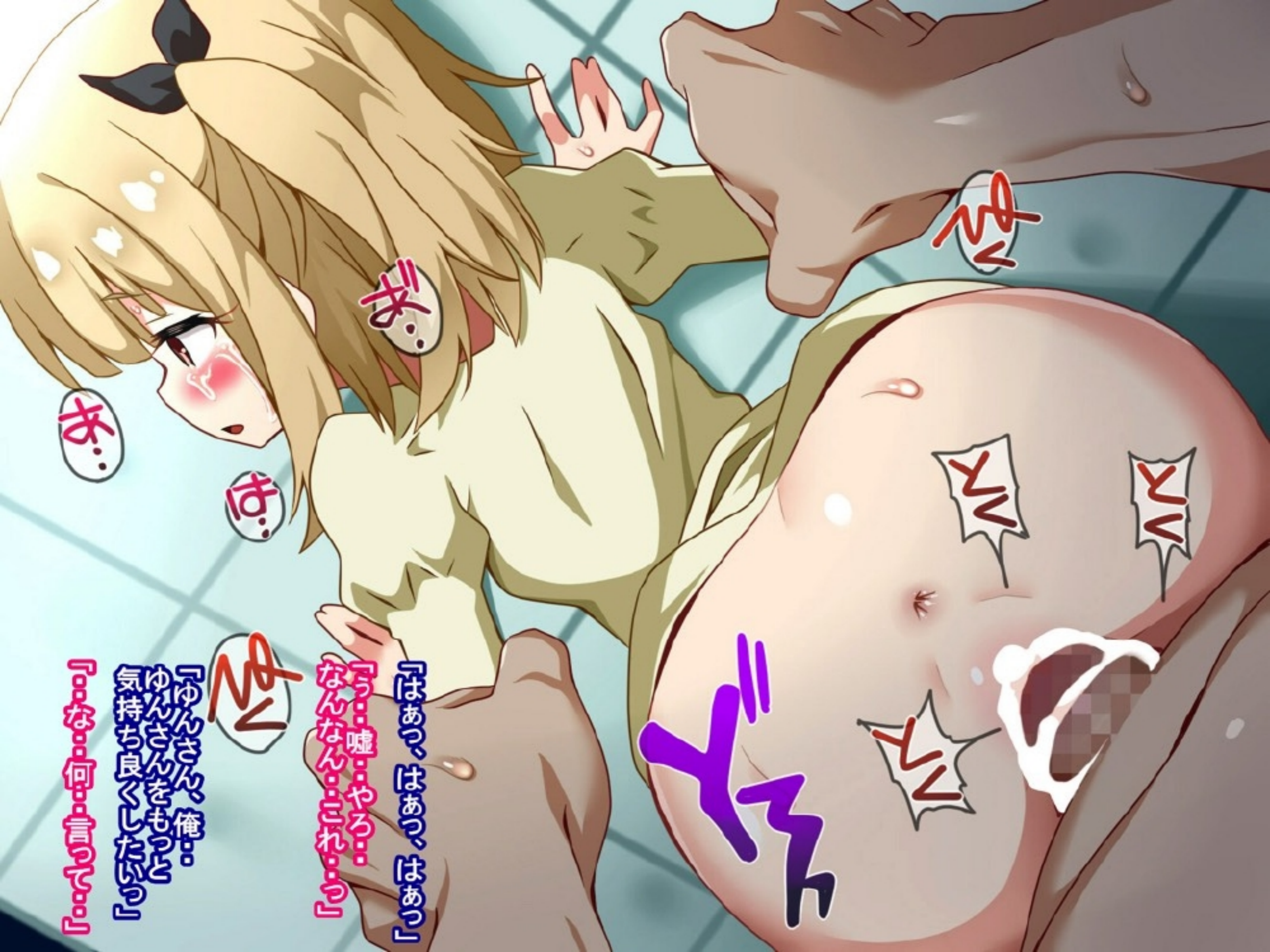
「ゆ、ゆんさん俺……も……もう……」

「嘘っ!? 駄目っ、それだけはっ」

キーン

「……………」

「……………」



「ゆんさん、俺…
ゆんさんをもっと
気持ち良くしたいっ」
「…な…何…言のよ…」

ん

「はあっ、はあっ、はあっ」
「う…嘘…やる…
なんなん…これ…」

お

お

お

ん

ん

ん

ド



あー！

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

「あー、はっ、あーっー！
なっ、何やっ、わえっー」
「単なる媚薬ですからから
ゆんさんは何も気にせず
気持ち良くなってください
うっ……ぬっっー」
「あああああっ」



「あかん。。も。。頭真の自。。」
 「ま。。また。。田。。」
 「ゆ。。れ。。ゆ。。れ。。」
 「お。。お。。お。。」
 「。。。。」
 「。。。。」

「ん」

「ん」

「ん」

「ん」

「ん」

「ん」

「ん」



「あーっ」

「あーっ!」

「あーっ!」

「あーっ!」

「あっ、はっ、ああっ! はっはげしっ!」

「ゴメン青葉ちゃんっ 久々だから我慢 出来なくてっ 腰っ止まらなっ!」

「だ、大丈夫っ、 ですからっ、我慢っ しないでっ、あっっ!」



「お、俺……お」
 「ズッズッズッズッ
 ズンズンズンズン♡」
 「ズッズンズン……」
 「ズンズンズン……♡」
 「ズンズンズン……♡」

ズッ!

ズン

ズン

ズン

ズン

ズンズンズン

ズン

ズン

ズン

ズン



「あ…は…ああ…
奥まで…こんな…♡」

「青葉ちゃん「メン…
一回だけなんて無理だ…
延長…いいかな？」

「……はっ♡」



「ま、また田んぼでっけー」
「あ、また田んぼでっけー」
「ま、また田んぼでっけー」
「あ、また田んぼでっけー」
「ま、また田んぼでっけー」
「あ、また田んぼでっけー」
「ま、また田んぼでっけー」
「あ、また田んぼでっけー」
「ま、また田んぼでっけー」
「あ、また田んぼでっけー」



「あ……っ、は……っ、あ……っ
「……っん……な……っ
「……っ……っ？」
「あ……っ、いい感じっ
流石ひふみさん……
うっ……っ……っ……っ」
「良かった……っ♡
「じゃあこのままです
頑張る……っね……っ？」

おっ!

おっ!

はっ!

おっ!

おっ!

おっ!

おっ!



「おんがのこころを全部」

「おんがのこころを全部」

「おんがのこころを全部」

「おんがのこころを全部」

!!!

!!!

!!!

!!!

!!!

!!!

!!!

!!!



「あ…は…あ…の」

「ふっふ、めっぢや
出たわ〜」

「…まだ…硬いままだけど…
大丈夫…?」

「えっ…うん…
それじゃちよつとだけ
延長しようかな?」

「…うん♡」

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



「ひふみさんっ
俺もっ無理っっ」

「大丈夫っっ」

「ほらっ、まだっ出たっ」

「が、勘弁してくださるっ」

「噴水みたいな勢いっ」

「いい子いい子っ」

「全部出しちゃおうねっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」



IMP!

N

N

N

IMP!

「おんぐわ、いんぐわー
お、おじさんっ、そんなに
慌てなくても……いんぐわー」

「すまんぐわ
いんぐわいんぐわ
たまりにたまりっ……
ぬっぐわー」

「いんぐわいんぐわ」



キーン

ガッ

グッ

グッ

ガッ

グッ

「早速出るぞーっ」
「まだーまだーっ」
「なにーこれーっ」
「こんなのーっ」
「入りきらなーっ」
「あああああっ」



「あ……は……あ……ああ……
す……かったあ……♡」

「おいおいまだ休む
こは早すぎでしよっつ
当然延長だからね?」

「……わ……わかっているよ……」



「ほれっまた出るんやっ」
 「む、無理っ、もうせし入らな…っ」
 「ほれっ、イけっ…」
 「中出しされてイけっ…」
 「や、やだやだっ」
 「こっ、こんなの…っ」
 「~~~~~っっっっっっっっっっっっっ」



おっ!!

ははは

ははは

ははは

おっ!!

「あっ、はっ、ああっ!!」

「はあっ、はあっ!!
ポテ腹ゆんちゃんも
可愛いよ!!」

「あ...あほ...っ
な、何ゆーて...
あああああっ!!」



「...ぴんぴん...」

「お、おっぱい、ぽっぴん...」

「.....ちよちよ、ちよちよ.....」

「.....」

「.....」

「.....」

「.....」

「.....」

んん

んんん!!

んんんん

んんんん

んんん

んんん!!

んん



#1533

#1533

#1533

ん

ズ

ん

ん

ん

ん

ん

「はあ、はあ、はあ、はあ」

「おんたす出すわん...」

「うめん...」

「ゆんちゃん...その...」

「え...延長いかな...?」

「...じゃないな...」



「Mw!」

「Mw!」

「Mw!」

「Mw!」

「Mw!」

「ま、また出るっ」

「ええよっ、全部っ全部出してっ」

「~~~~~」

「き、きたっ♡熱いのきたっ♡
またこんなにたくさんっ
みんなの…も…も…っ
~~~~~♡」